



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.164 2017 January

今月の記事

Top News

○第1回日中韓学長会議「キャンパス・アジア」の正式発足を祝う ……………1

質保証連携

質保証人材育成

○「EAワークショップ『評価力を上げるための目的・計画の作り方』」を開催 ……………2

○「平成28年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】」を開催 ……………3

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

○平成28年度10月期申請に係る「大学改革支援・学位授与機構試験」を実施 ……………4

機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与

○32人から学位授与の申請—修士又は博士相当の課程修了見込者— ……………5

主要行事日程

○Schedule (1月~3月) ……………6

TOP NEWS

○第1回日中韓学長会議 「キャンパス・アジア」の正式発足を祝う

平成28年12月13日、第1回日中韓学長会議が韓国で開催され、当機構からは岡本理事及び国際課職員3名が出席しました。同会議の冒頭では、平成28年度から始まる「キャンパス・アジア」の本格実施を祝う発足式も行われ、採択された17のコンソーシアムから学長をはじめとする関係者や政府関係者等、約200名が一堂に会しました。また、国際的な流動性やグローバルな雇用可能性をテーマにした発表もあり、様々なステークホルダーによる知見が寄せられました。当機構の岡本理事からも、当機構が中国、韓国の質保証機関と共同で実施した「キャンパス・アジア」モニタリングの概要や優良事例のほか、成果物である日中韓共同モニタリング報告書を紹介しました。



岡本理事による発表

「キャンパス・アジア」事業は、日本、中国、韓国の3カ国の政府が共同で取り組んでいる、質の伴った大学間の交流を通じて、学生等の留学・移動を促進し、将来の東アジア地域の発展を担う人材の育成を目指す構想です。すでに平成23年度から27年度までの期間中に、日中韓の大学で構成されるコンソーシアムが試験的に10件選定され、国際共同教育プログラム等を始動しました。本年度からの本格実施においては、17件選定され、今後5年間にかけてプログラムを実施します。

当機構は中国と韓国の質保証機関と共同で日中韓質保証機関協議会を設立し、本構想の当初から質の保証面での支援を行っています。具体的には、国境を超えた教育プログラムである「キャンパス・アジア」の取組をモニタリングし、教育の質の観点から優れた取組を抽出して、広く国内外に発信しています。このような質保証活動を3カ国の質保証機関が共同して実施する取組は、海外でも類を見ないものです。今後は、3カ国の質保証機関が共同で国際共同教育プログラムの質保証に関するガイドラインを作成する予定となっています。

「キャンパス・アジア」モニタリングに関する詳細や各報告書は[こちら](#)を参照してください。

質保証連携

質保証人材育成

○「EAワークショップ『評価力を上げるための目的・計画の作り方』を開催

平成28年12月16日(金)に「EAワークショップ『評価力を上げるための目的・計画の作り方』」を、竹橋オフィスで開催しました。

EAワークショップは、機構のEA(Evaluability Assessment)研究会で開発している教材とコンテンツを基に、現在取組んでいる質保証連携事業の一環として実施したもので、計画立案段階で現行の課題や問題を可能な限り把握し、適切な指標等の設定を行うための視点の提供を目的としています。

今回のワークショップでは、国立大学をはじめ私立大学、民間企業といった様々な機関から、計27名の参加がありました。

当日は、午前には機構の武市研究開発部長による開会挨拶の後、田中研究開発部教授よりEA教材の紹介と使い方等についての講義がありました。その後、演習課題と演習の進め方の説明があった後、参加者を5つのグループに分けて、演習課題とEA教材を用いた演習が行われました。午後からは、午前引き続き演習が行われ、演習のそれぞれの節目には各グループによる演習結果の発表が行われました。その後、演習の振り返りが行われた後、最後に田中教授より総括がありました。



講義を行う田中教授

今回は、EA教材の全行程(ステップ1~3)のうち、ステップ1「関係者の把握、課題・問題の分析」及びステップ2「目的の整理、計画の作り方」を対象としたワークショップとなりました。また演習では、仮想の大学における「学生募集」にまつわる問題の把握と解決をテーマとした例題を、新たに用意しました。

ワークショップでは、役職や属性の類似する大学等の方々で編成したグループに、研究会メンバーがファシリテータとして加わり、参加者の業務経験の共有や意見交換を通して演習のテーマに関する具体的なイメージを作りながら、活発な議論が行われました。また、演習結果の発表を通じて、各グループにおける議論の内容を参加者間で共有いただき、盛会のうちにワークショップを終えることができました。

なお、当日の配布資料及び参加者アンケートの結果等については、[こちら](#)よりご覧になれます(過去に開催したワークショップ等の内容についてもご覧になれます)。



演習の様子



演習結果の発表

○「平成28年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】」を開催

平成28年12月21日（水）に平成28年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】を小平本館で開催しました。今回の研修は、平成28年6月15日（水）開催の【基本プログラム】の内容をふまえ、さらに質保証に係る背景知識を学ぶことを目的として開催しました。

当日は、機構の様々な部署より約70名の教職員の参加がありました。

研修の前半には、田中教授より、「評価とは何か～基礎にある考え方を学ぶ～」と題し、大学評価をはじめ、企業評価、政策評価等様々な評価を紹介しつつ、評価全体に関わる基礎的な考え方についての講義が行われました。研修の後半には、金評価企画課長より、「高等教育の概要～国立大学を巡る最近の動向を中心に～」と題し、過去の答申の内容をふまえた高等教育制度の背景や、近年の高等教育改革の動向についての講義が行われました。また各講義終了後には、人事評価と賞与等との関係についての質問等、熱心な質疑応答が行われました。

今回の研修は、参加者にとって質保証に関する事業の背景知識を習得することで、職務遂行能力の向上を図る良い契機となりました。

また、研修後に実施されたアンケート結果からも、「評価の根本について解説があり、とても興味深かった」等多くの意見が寄せられ、参加者にとって関心度が高く、有意義な研修となったことが伺えました。



講義を行う田中教授



講義を行う金評価企画課長



講義に聞き入る参加者

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

○平成28年度10月期申請に係る「大学改革支援・学位授与機構試験」を実施

平成28年12月4日（日）及び11日（日）に、平成28年度10月期申請に係る「大学改革支援・学位授与機構試験」を実施しました。

面接試験は東京で、小論文試験は全国2か所（東京・大阪）で実施しました。

なお、東京地区試験場におきましては、北海道地方における記録的な積雪による航空機の欠航に伴い、今年度限りの受験特別措置として、申請者2人に対して、平成28年12月18日（日）に追試験を実施しました。

試験の実施状況は次のとおりです。

1 面接試験

(1) 日 時 平成28年12月4日（日） 10時30分～15時15分
(1人当たり15分程度)

(2) 受験状況

受験予定者数	56人
受験者数	55人
欠席者数	1人
受験率	98.2%

2 小論文試験

(1) 日 時 平成28年12月11日（日） 午前の部 10時30分～12時00分
午後の部 14時30分～16時00分
〔受験特別措置（追試験）：平成28年12月18日（日） 14時00分～15時30分〕

(2) 受験状況

受験予定者数	647人
受験者数	643人
欠席者数	4人
受験率	99.4%

今後、各専門委員会・部会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成29年2月15日（水）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には学士の学位を授与する予定です。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○ 32人から学位授与の申請—修士又は博士相当の課程修了見込者—

大学院に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成29年3月修了見込者32人（修士課程相当30人、博士課程相当2人）から、学位授与の申請がありました。

今後、各専門委員会・部会における論文の審査及び試験（口述）を経て、平成29年3月10日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者にはそれぞれ修士又は博士の学位が授与される予定です。

<修士及び博士の学位授与申請者数>

認定課程名	学位（専攻分野）	申請者数（人）
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	修士（理学）	2
	修士（工学）	9
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	博士（工学）	2
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	修士（安全保障学）	12
水産大学校 水産学研究科	修士（水産学）	2
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科	修士（看護学）	5
合 計		32

主要行事日程

○ Schedule

1月

日	行事名	担当課
13日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
13日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課

2月

日	行事名	担当課
15日	学位審査会（平成28年度第4回）	学位審査課
24日	学位記伝達式・講評	学位審査課
27日	大学ポータルサイト運営会議（第6回）	大学ポータルサイト センター事務室

3月

日	行事名	担当課
6日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課
8日	大学機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
10日	平成28年度大学改革支援・学位授与機構シンポジウム	総務企画課
10日	学位審査会（平成28年度第5回）	学位審査課
13日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構